



2023年4月25日
 神戸国際大学 第86号
 キリスト教センター通信

「チャペルのあるキャンパス」

理事長 司祭 バジル 八代 智

あらためて新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。そろそろ4月も終わろうとしておりますが、本学には慣れましたか？

履修登録や90分の授業と、これまで小中高と経験することのなかった手続きや、長い授業に戸惑う人もいたのではないのでしょうか。とくに親元から離れ、人生で初めて一人暮らしを始めた新入生にとっては、これまでお母さんやお父さん方が当たり前のようにしてくれていた炊事や洗濯や部屋掃除等、これからはすべて自分でしなくてはならないということで、もうすでに音を上げている人もいるかも知れませんね！

そこで大切になってくるのが、友達作りではないでしょうか。同じ授業を受けている人や、同じクラブやサークルに入った人と知り合って1か月が経ちましたが、新たな友を得るということは人生にとってとても大切なことだと私は思いますので、これからどんどん友達を作ってくださいね♪

下宿で一人食事の準備をして、美味しそうな晩ごはんが上手くできても、「いただきます！」と一緒に言ってくれる仲間が隣にいないと、あまり美味しくはありません。私も牧師になって最初の勤務地である岡山の教会に行った時、一人で食事を作り一人でそれを食べる侘びしさを嫌というほど経験しました。

でも友達を下宿に招いて一緒に食事を作り、楽しい話をしながら一緒に食べることができれば、その食事はとても美味しくなるのです。一緒に食べたり飲んだりできる、そのような友をこれからどんどん作ってください。

とはいえ友達ができたらできたと、些細なことでも揉めることもあるでしょう。初めて暮らす神戸の地で新たにアルバイトを始めたら、バイトの先輩に叱られてへこんでしまったということもこれから何度も経験するでしょう。また授業でも、先生に注意されて落ち込んでしまうこともあるでしょう。

でもこうした苦い経験を重ねる度に、皆さんは社会人に向けてどんどん成長するのです。何かで落ち込んだり悩んだりした時は、どうぞチャペルにいらしてください。本学は日本聖公会（イギリス国教会系）というキリスト教の学校ですので、キャンパス内にチャペルがあります。

いわずもがなチャペルは祈りの場ですので、食べたり飲んだりはできませんが、とくにキリスト教のお祈りが分からなくても、一人静かな時間と空間の中に身を置いて、自分自身のこれまでを振り返ってみるのも一考ではないでしょうか。また月曜から金曜までの午後1時から昼の礼拝も行われておりますので、気軽にお越しくださいと願っています。

新入生も在学学生も自分自身の精神的成長のために、これからも本学チャペルを大いに利用して、充実したキャンパスライフを送ってくださいますよう、祈ってやみません。

< < * * * * * > >

ひとくちメモ チャペルとは

Chapel チャペルとは、地域の信徒が集って礼拝を献げる一般の教会とは異なり、学校、病院、ホテル、また海外では空港やショッピングモール、軍隊の基地などにも設置される礼拝施設（礼拝堂）のことです。本学にはキャンパスの南に白くそびえる All Saints Chapel 諸聖徒礼拝堂があります。

毎日の昼の礼拝のほかに聖歌隊、キャンプ、ボランティア、バイブルカフェ、リラクゼーションなど、多彩なプログラムでみなさんをお待ちしています。



侵攻から1年を過ぎても終結は見えません。

また、その他の地域にも紛争や災害に苦しむ人びとが多くいることを忘れずに祈りましょう。

ウクライナのための祈り

正義と平和の神よ、

わたしたちは今日、ウクライナの人々のために祈ります。

またわたしたちは平和のために、そして武器が置かれますよう祈ります。

明日を恐れるすべての人々に、

あなたの慰めの霊が寄り添ってくださいますように。

平和や戦争を支配する力を持つ人々が、知恵と見識と思いやりによって、
み旨に合う決断へと導かれますように。

そして何よりも、危険にさらされ、恐怖の中にいるあなたの大切な

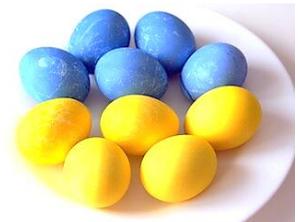
子どもたちを、あなたが抱き守ってくださいますように。

平和の君、主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン。

ジャスティン・ウェルビー大主教

スティーブン・コットレル大主教



A Prayer for Ukraine

God of peace and justice,

we pray for the people of Ukraine today.

We pray for peace and the laying down of weapons.

We pray for all those who fear for tomorrow,

that your Spirit of comfort would draw near to them.

We pray for those with power over war or peace,

for wisdom, discernment and compassion to guide their decisions.

Above all, we pray for all your precious children, at risk and in fear,
that you would hold and protect them.

We pray in the name of Jesus, the Prince of Peace.

Amen.

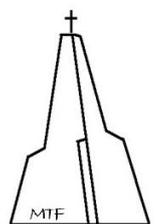
Archbishop Justin Welby

Archbishop Stephen Cottrell



ウクライナのための祈り (カード) 日本聖公会東京教区のページへ

禁複製転載 (C) St.Michael's KIU_MTF



神戸国際大学キリスト教センター